7.検証課題：多言語表示が必要な範囲の整理

ISO規格のピクトグラムを活用した案内表示の多言語化を計画することにより、
文字がなくても意思の疎通（移動の円滑化）がはかれると考えます。
単なる言語の多言語化だけを目指すのではなく、わかりやすいデザイン、
地域の景観・イメージを高めるデザイン、オリジナリティーもふまえて、
ホスピタリティ豊かなデザインの開発をご提案します。

ジャンルによりカラーリングも考慮しております。（ピクトサインの下に表記）
交通関係はグレイで統一しております。

今回の検証に多種に渡って使用することが予測されるピクトグラムです。
これらのピクトグラムにナンバーを付加し、一対で、記号と番号をみれば、各国の
言葉が入っていなくとも容易に案内図やマップから検索できると考えます。
これにより移動途中の指示標識や、施設案内板等わかりやすくかつ明確な情報として提供
できると考えます。

7.検証課題：戦略的な情報提供

英語圏の観光客は周遊性観光を目指すため、各拠点から拠点の移動を円滑に行るような案内表示や、誘導サインが必要となります。
そこで、移動途中の誘導サイン等の表記は、英語を追記した表記で、検証を行います。
少数のアジア圏の個人旅行者にも、不自由がないようにピクトグラムにナンバーリングを施し、ガイドブックや、マップとの連携で、目的地への移動を容易にします。
同様にバス停、宿泊施設とも連動したナンバーリングを施すことで便利な手持ちマップを目指します。

ピクトグラム+ナンバーで、マップと街中の案内図をリンクさせている。

同様に街中の指示標識にもリンクをさせる

ガイドブックにもピクトグラム+ナンバーを入れたものを記載し、総合的な案内表示の情報の提供を行う。

主要な観光ポイントの周辺に建てる指示標識は、4カ国語で表記し、拠点からの移動途中においては、日本語と英語表記に絞り、見やすくする。

8.案内表示の手法

ターミナル設置のバス停位置図及び路線図、観光情報

現状

●駅前広場に新設予定の案内サイン
駅出口から出てすぐにサインを設置する。
多言語カラーリング、ナンバリングした路線図を掲載する。
サインの場所から乗場までの案内を行う。
主な観光地にどの路線で行くのか？何番ホームから出発するのか？所要時間？降車バス停の情報、料金など掲載します。

8.案内表示の手法

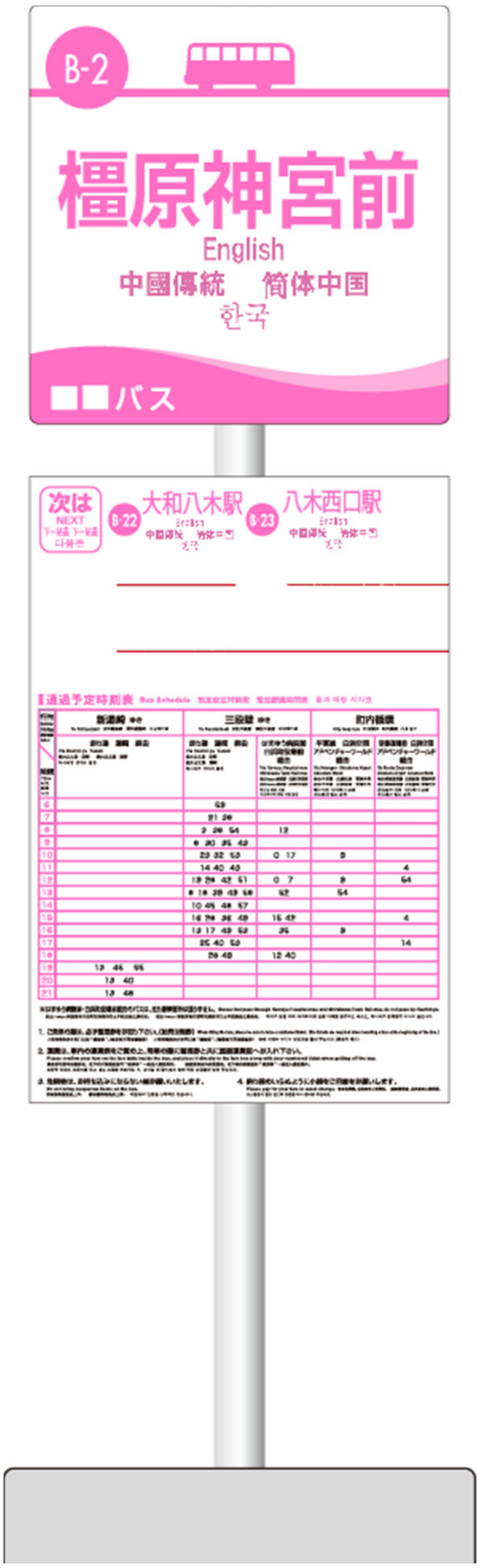
現状

施設付近から施設の中の誘導するサインとして計画します。
ピクトグラム+ナンバーで、マップや案内図、観光ガイド等とリンクさせた案内標識です。
また、施設名と共にあるラインは、観光名所にちなんだ施設の種類を表します。

8.案内表示の手法

＜多言語化バス停＞

現状

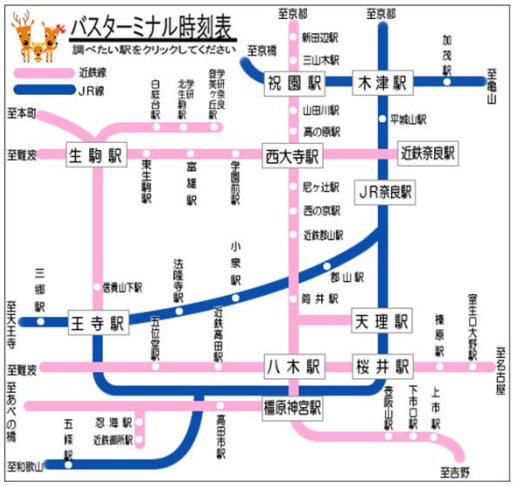


8.案内表示の手法

●バス路線図をナンバリング、カラーリング、多言語化

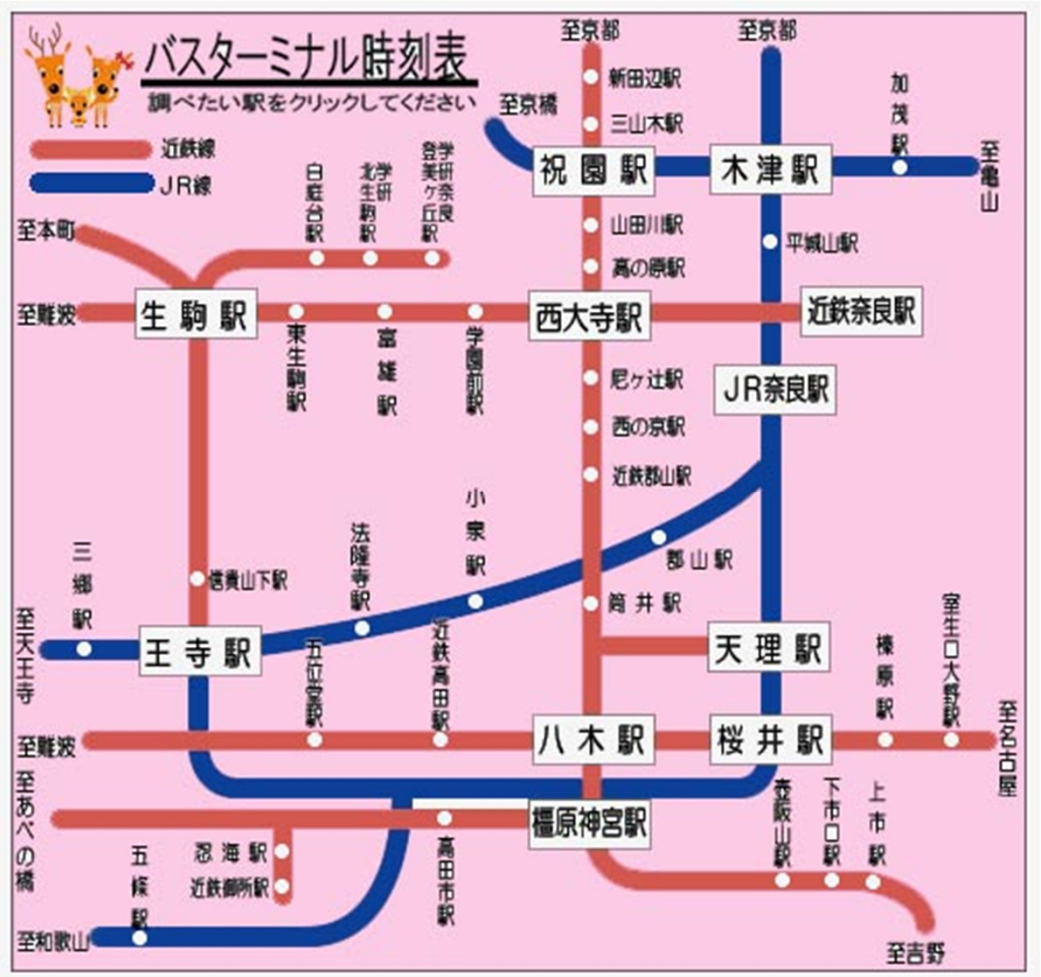
外国人観光客の移動容易化を促進するためには、多言語で明記する必要性がある。
併せて、各路線図をカラーリングし、バス停の色と連動させる。
また、各バス停にナンバリングを施し、英語が読めないアジア系観光客にも対応する。

現状



※イメージ

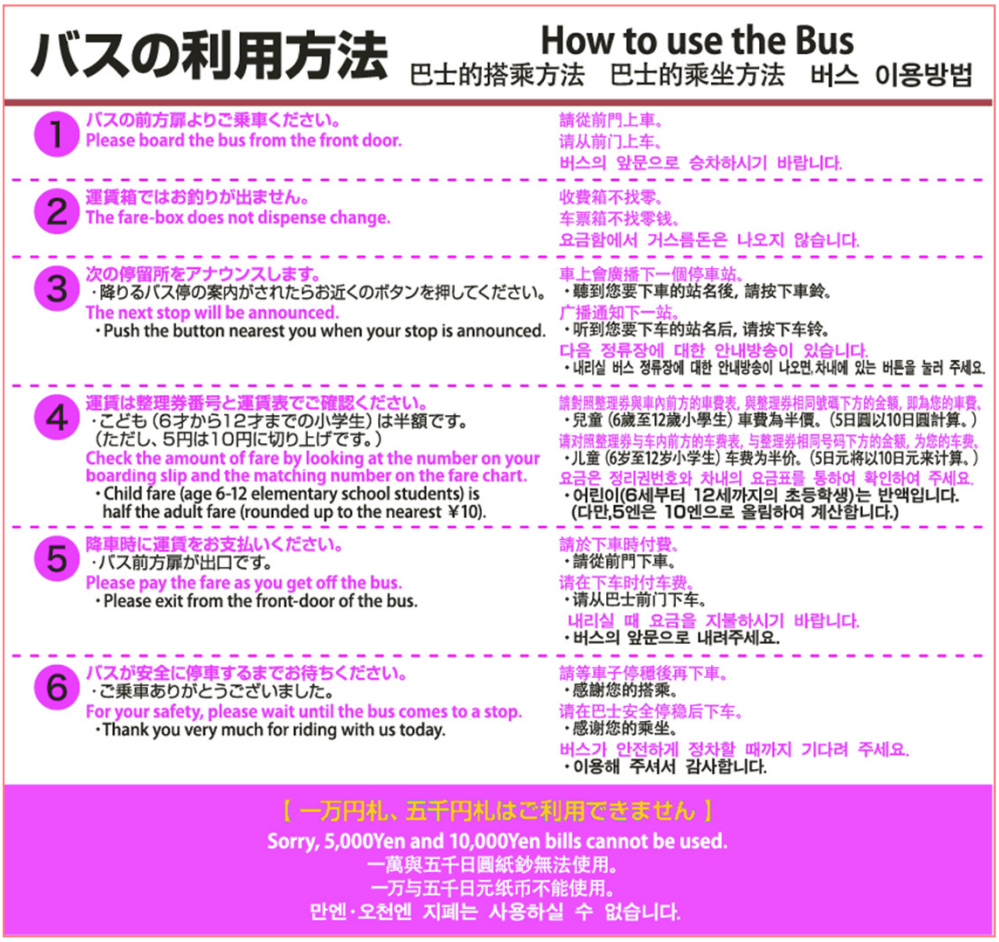
桜のイメージで統一



8.案内表示の手法

●バスの利用方法

現状



バスの利用方法 How to use the Bus 巴士的搭乘方法 巴士的乘坐方法 버스 이용방법

1 バスの前方扉よりご乗車ください。
Please board the bus from the front door.
請從前門上車。
请从前门上车。
버스의 앞문으로 승차하시기 바랍니다.

2 運賃箱ではお釣りが出ません。
The fare-box does not dispense change.
收費箱不找零。
车票箱不找零钱。
요금함에서 거스름돈은 나오지 않습니다.

3 次の停留所をアナウンスします。
・降りるバス停の案内がされたらお近くのボタンを押してください。
The next stop will be announced.
・Push the button nearest you when your stop is announced.
車上會廣播下一個停車站。
・聽到您要下車的站名後，請按下車鈴。
广播通知下一站。
・听到您要下车的站名后，请按下车铃。
다음 정류장에 대한 안내방송이 있습니다.
・내리실 버스 정류장에 대한 안내방송이 나오면,차내에 있는 버튼을 눌러 주세요.

4 運賃は整理券番号と運賃表でご確認ください。
・こども（6才から12才までの小学生）は半額です。
（ただし、5円は10円に切り上げです。）
Check the amount of fare by looking at the number on your boarding slip and the matching number on the fare chart.
・Child fare (age 6-12 elementary school students) is half the adult fare (rounded up to the nearest ￥10).
請對照整理券與車內前方的車費表，與整理券相同號碼下方的金額，即為您的車費。
・兒童（6歲至12歲小學生）車費為半價。（5日圓以10日圓計算。）
请对照整理券与车内前方的车费表，与整理券相同号码下方的金额，为您的车费。
・儿童（6岁至12岁小学生）车费为半价。（5日元将以10日元来计算。）
요금은 정리권번호와 차내의 요금표를 통하여 확인하여 주세요.
・어린이(6세부터 12세까지의 초등학생)는 반액입니다.
(다만,5엔은 10엔으로 올림하여 계산합니다.)

5 降車時に運賃をお支払いください。
・バス前方扉が出口です。
Please pay the fare as you get off the bus.
・Please exit from the front-door of the bus.
請於下車時付費。
・請從前門下車。
请在下车时付车费。
・请从巴士前门下车。
내리실 때 요금을 지불하시기 바랍니다.
・버스의 앞문으로 내려주세요.

6 バスが安全に停車するまでお待ちください。
・ご乗車ありがとうございました。
For your safety, please wait until the bus comes to a stop.
・Thank you very much for riding with us today.
請等車子停穩後再下車。
・感謝您的搭乘。
请在巴士安全停稳后下车。
・感谢您的乘坐。
버스가 안전하게 정차할 때까지 기다려 주세요.
・이용해 주셔서 감사합니다.

【 一万円札、五千円札はご利用できません 】
Sorry, 5,000Yen and 10,000Yen bills cannot be used.
一萬與五千日圓紙鈔無法使用。
一万与五千日元纸币不能使用。
만엔・오천엔 지폐는 사용하실 수 없습니다.

8.案内表示の手法

注意喚起サイン

現状

●注意喚起におけるサインを多言語化
注意喚起として、多言語で明記する必要性がある。特に、生命に関わる注意喚起を多言語化して掲出し検証。立ち入ることにより生命の危険がある場合の注意勧告をよびかけるサインを多言語化

8.案内表示の手法

周辺観光地へのアクセス案内パンフレットの多言語化

今回の外国人観光客の移動容易化のための言語バリアフリー化用パンフレット提案として2つのポイントがあります。

Point　ピクトグラムによるサインとの連動

多言語化にピクトグラムを採用した各サイン類に連動し、パンフレットにも各主要観光スポットに各ピクトグラムを記載します。

Point　公共交通機関の乗り方を追記

通常の多言語観光パンフレットにはあまり記載されていない、電車・バスの乗り方説明を追記します。

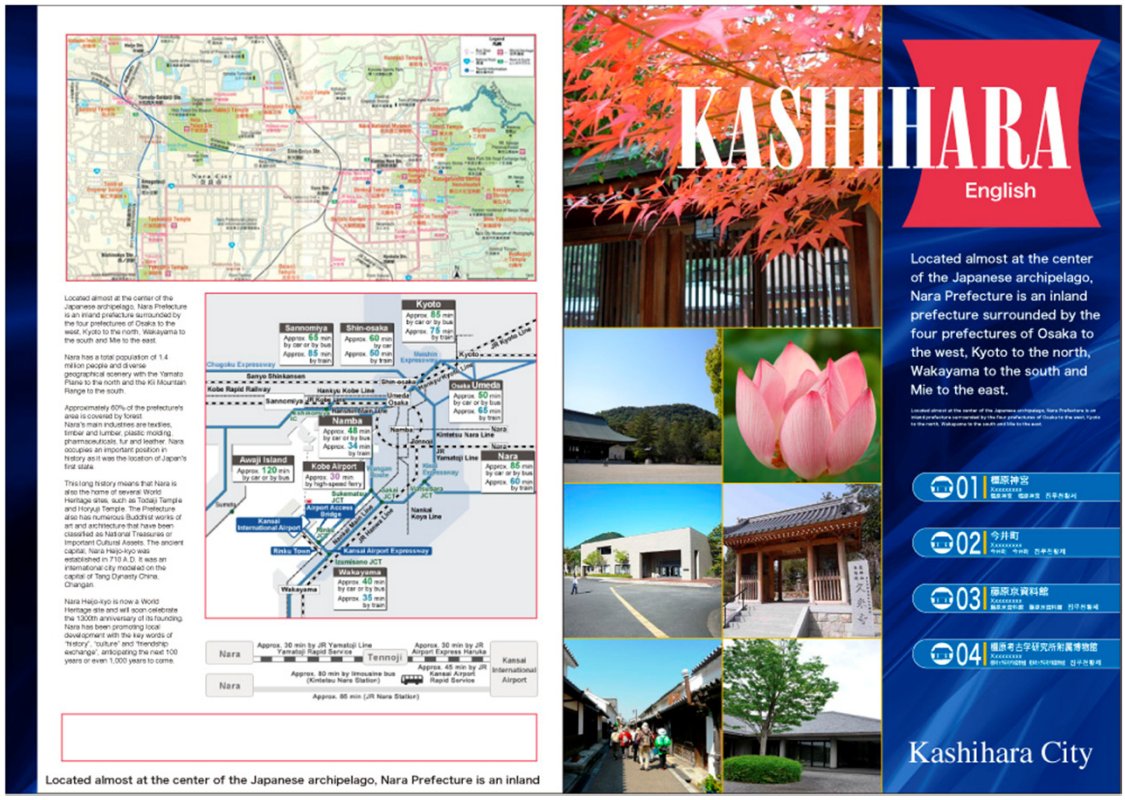
パンフレット構成案

表紙	各市町のピクトグラム、イメージ、キャッチコピー等の掲載
裏表紙	広域地図、広域アクセスマップ、関西空港からの電車・バスの説明の掲載
P1-P2	各市町の地図、地図上には各観光スポットのナンバー、主要観光スポットの説明（写真、ピクトグラム、主要駅から最寄りバス停の説明、徒歩の場合の説明、観光説明）の掲載
P3-P4	主要観光スポットあるいは、その他観光スポット（写真、ピクトグラム、主要駅から最寄りバス停の説明、徒歩の場合の説明、観光説明）の掲載（※桜井・橿原はお題の主要観光スポットが4・5箇所であり、おそらく他の他観光スポットの掲載も必要と感じたため。吉野はお題の主要観光スポット16箇所でほぼ網羅していると予想します）
P5-P6	電車・バスの乗り方の説明、主要駅付近のバス停場所、バスルート図、目的地一覧、目的地別バス乗り場番号などの記載

8.案内表示の手法

パンフレット構成ビジュアル案

表紙	各市町のピクトグラム、イメージ、キャッチコピー等の掲載
裏表紙	広域地図、広域アクセスマップ、関西空港からの電車・バスの説明の掲載



橿原

吉野

桜井

8.案内表示の手法

P1-P2

各市町の地図、地図上には各観光スポットのナンバー、
主要観光スポットの説明（写真、ピクトグラム、主要駅から最寄りバス停の説明、徒歩の場合の説明、観光説明）の掲載

橿原

吉野

桜井

8.案内表示の手法

P3-P4　主要観光スポットあるいは、その他観光スポット（写真、ピクトグラム、主要駅から最寄りバス停の説明、徒歩の場合の説明、観光説明）の掲載

橿原

吉野

桜井

8.案内表示の手法

P5−P6　電車・バスの乗り方の説明、主要駅付近のバス停場所、バスルート図、目的地一覧、目的地別バス乗り場番号などの記載

橿原

吉野

桜井

8.案内表示の手法

実地検証にあたってのプロセス

【実施計画についての概要】

協議会、外国人モニター、関係各所からの意見も参考にし、設置・施工を検討。

その結果、

＜橿原地区＞

・実際に外国人モニターと視察し、かつ今井町保存組織と協議した結果、同町は風致地区、保存地区であり地区景観にそぐわないピクトリアル、案内等は相応しくないとの結論に達した。また外国人モニターの意見でも、「この日本的な景観の中に、目立ちわかり易くともあまりにもそぐわない案内等を出すことはかえって外国人観光客を遠のかせる結果になる」との意見があり、当初よりも数量を減らし、かつ周辺景観にあったデザインに変更した。

変更後のモニターでは外国人に好評であった。

＜吉野地域＞

・吉野山域については、観光客の殺到する観桜時期以前の事業完了が求められたため、一部の看板は除外した。

・また吉野町自身の計画等もあり、現地要望に従って計画を一部変更した。

・吉野駅付近における整備は誘導サインに注力し、一般的な注意喚起サインに関しては今回の調査対象としない。

・地元要請と外国人事前モニターによって、地図看板に加え多言語化リーフレットが各地アクセスに必要であることがわかり、現存の日本語リーフレットを多言語化し印刷。案内所等に設置した。

＜桜井地区＞

・桜井駅周辺は桜井市、近畿日本鉄道、JR西日本等で土地の権利関係が複雑かつ判明しない部分がある。特にJR所有地への設置はその許認可に時間がかかり、年度内に許可が下りる可能性がなく、一か所にとどまった。

・地図や一部の案内看板に関してはすでに多言語化、ピクト化がなされているので、これらに関しては手を加えない。

・奈良交通が運営する桜井市コミュニティーバスの社内、バス亭表示については桜井市が特に観光活性化に力をいれている多武峯・談山方面に集中することにした。外国人モニターにとっても同地域はあまりなじみがないものの、日本史の重要な舞台であったことを知り、かつ実際に現地を訪れてみると魅力的な観光地であることがわかり、同地区の多言語化を集中的に行うことにした。

・同路線バス車内における案内の必要性も考え、車中のLED式デジタル表示装置を導入し、降車バス停留所、運賃、両替方法や簡単な観光案内を多言語並びにピクトにより行う。

・また桜井市はフランス・シャルトル市と姉妹都市提携なども行い、地域によっては相当の多言語化がなされており、また近々実施される予定であった。

・長谷寺界隈の実施調査の結果、外国人にとって駅またはバス停留所からのルートがかなり複雑であることが判明した。また今井町同様、伝統的な日本の門前町であることを考え、周辺景観に併せて個数、デザイン等を調整した。

・一部の神社仏閣では、寄贈された看板や案内等のリニューアルを肯定的にとらえない傾向もあった。特に寄贈団体との調整、確認に時間がかかりそうな物件は一部多言語化を見送り、別物件を設置した。

＜各地区パンフレット＞

・桜井市、橿原市には、すでに多言語化された案内、パンフレット等があり、各自治体からの要請により、現状不足している言語の版を追加制作する事になった。桜井市は繁体字版、橿原市は英語版・繁体字版をそれぞれ作成する。